

電線・電子材料関連のフロンティアを開拓  
持続的な社会の発展に貢献し、企業グループの価値向上を目指します

タツタ電線グループは、電線・ケーブル事業および電子材料事業をコア事業とし、次代を担う事業の開発にも継続的かつ積極的に関わり、活力・スピード感に溢れ、公正かつ透明性の高い連結経営を推進することにより、持続的に成長し、中長期的な企業価値を向上させるとともに、地球環境問題に配慮しつつ、顧客ニーズにマッチした特長ある商品・サービスを提供することにより、持続的な社会の発展に貢献することを経営の基本方針としております。

創業 70 周年の節目となる 2017 年には長期ビジョンを策定いたしました。その概要は、2025 年度には、売上高 1,000 億円・営業利益 100 億円を達成することを目標とし、電線・電子材料関連のフロンティアを開拓して、独創的な先端部品・素材を供給するニッチトップのサプライヤーとなることを目指します。

そのために、特に市場の拡大が期待される導電性ペースト分野および医療機器関連部品・材料分野においては効率化の推進、高マージン商品へのシフト等により回収利益の最大化を追求することを基本とします。

さて、この「CSR 報告書 2018」であります。ステークホルダーの皆様はタツタ電線グループの活動全体についてのご理解を深めていただきたく、環境報告に加え、社会活動、コーポレートガバナンス等の報告の充実を図ったものです。

当社グループの環境に関する基本的な考えは、環境に配慮した優れた製品を社会に提供するとともに、その生産に当たっては環境への負荷低減を徹底することにあります。また、事業運営に当たっては、法令、社内規程を遵守し、社会規範や倫理に則って公正な企業活動を行うこと、情報を適切かつ公正に開示して経営の透明性を高めることを徹底してまいります。

ステークホルダーの皆様には、引き続きのご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

代表取締役社長 **外池 康太郎**

## 2025 長期ビジョン

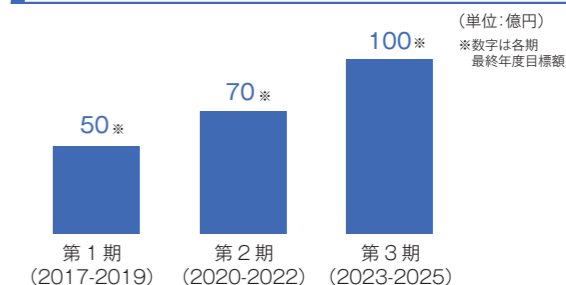
### 定性的な目指す姿

タツタは、電線・電子材料関連のフロンティアを開拓し、ニッチトップのサプライヤーとなり、独創的な先端部品・素材を供給する。

### 定量的な目指す姿

高い収益率を維持しつつ、現状の 1 桁上の規模（2025 年度売上高 1,000 億円、営業利益 100 億円）を併せ持つ企業集団となる。

### 目標達成へのマイルストーン



## 事業展開

成長追求事業	積極的に開発投資、増産投資等を実行して、規模の拡大、利益の拡大を追求する。 ペースト事業（半導体パッケージ用、車載基板用等） 医療機器部品・材料事業（高機能チューブ類、シングルユース電極類等）
利益追求事業	効率化投資の推進、高マージン商品へのシフト等により、回収利益の最大化を追求する。 通信電線事業、機能性フィルム事業、国内機器用電線事業、ファインワイヤ事業、システムフォト事業、環境分析事業
中長期育成事業	当面事業基盤整備に注力し、基盤整備の確認後、増産投資を実行して、将来的に規模の拡大、利益の拡大を追求する。 海外機器用電線事業

## 目標とする経営指標の達成状況等

当社グループの 2025 長期ビジョンの達成に向けた第 1 次中期経営計画（2017-2019）においては、事業基盤の整備、すなわち、通信電線事業、国内機器用電線事業、機能性フィルム事業等の利益追求事業においては収益力強化、ペースト事業、医療機器部材事業の成長追求事業においては新商品の開発を課題とし、マイルストーンを上回る 2019 年度売上高 580 億円、営業利益 54 億円を目標としております。

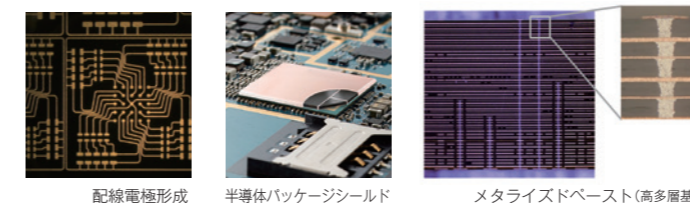
2017 年度は、利益追求事業における効率化投資、高マージン製品へのシフト等は順調に進行しており、また、成長追求事業における新商品開発も、一部に遅れが見られるものの、着実に進捗しております。2025 長期ビジョン達成に向け、順調なスタートを切ることができたものと評価しております。

### 成長追求事業開発製品イメージ

#### ペースト事業

メタライズペースト、半導体パッケージシールド・放熱・積層用、配線・部品実装用、車載基板用放熱材ペースト、車載向け新基板材料の開発等を進めています。

#### ペースト事業開発製品（イメージ）



#### 医療機器部品・材料事業

電線・電子材料事業で培った樹脂成型技術、精密電線技術、センシング技術を生かし、電線や光ファイバと複合した高機能ハイブリッドチューブ類、シングルユース電極類等をターゲットとして、事業展開を図ります。

#### 高機能ハイブリッドチューブ類

